

情報交差点・心と心の交わり

## あじまへ

大宜味村教育委員会  
電話 44-3006  
FAX 44-3020

第49回当山堅一杯中学校ソフトテニス大会

**大宜味中女子ソフトテニス部 団体優勝！九州大会出場決定！**

11月6日（土）、7日（日）に沖縄県総合運動公園庭球場において第49回当山堅一杯中学校ソフトテニス大会が行われ、大宜味中学校女子ソフトテニス部が女子代表の部に出場し1年生ながら見事優勝を飾り九州ジュニア選抜インドア大会への出場を決めました。

3年生が抜けてから1年生のみとなった女子ソフトテニス部。これまでは練習や試合でも先輩を見習って活動していましたが、これからは自分たちが主となる番。

今回の大会に向け、通常のメニューをしっかりとこなし、サーブの練習に力を入れていた部員たちは大会をふり返り「これまでとはまた違い新鮮な気持ちだった。緊張はしたけれど、楽しむことを意識して試合に挑んだ。点を取られても取り返す気持ちで思い切りプレイした」と話してくれました。

部員を代表して高良心さんは「1年生だけのチームとなり、緊張からトラブルもあったが、みんなで協力することで優勝につなげた。九州大会ではまず1勝すること目標にしている。気持ちが崩れないように体力もつけ1点1点、1試合1試合大事にしながら、次に活かせる試合にしたい。1戦1戦楽しみ、すべての試合に全力で挑みたい。私たちの成長が感じられるようもっと上を目指しコツコツ頑張るので応援してほしい」と意気込みました。

九州大会は12月26日、27日に熊本県で行われます。女子ソフトテニス部の活躍に期待します！！

科学を楽しもう！ 令和3年度わんぱく体験団 第3弾「飛ぶ科学」

11月6日（土）、わんぱく体験団第3弾「飛ぶ科学」が開催されました。タイトルと時間、持ち物は伝えていたけれど、詳しい内容は秘密にしていた今回のわんぱく。何もわからず集まってくるわんぱくたち4名。って、4名!? コロナのせいで部活や習い事が延び延びとなり、この日に重なってしまったようです。にしても4名…少なすぎる。気を取り直してわんぱくスタートです。

今回は空気力や反動の力で飛ぶおもちゃを作って飛ばし楽しみながら科学を学びます。沖縄子どもの国の優子お姉さんを講師にまずはペットボトルエアロケットを作ります。

特別講師：優子お姉さん

とにかく飛ばせ！ ペットボトルエアロケット



今回は琉大の応援団がマンツーマンで付けてくれました。

より遠くに飛ばすためにはどうしたらいいか考え、実践（飛ばす）してはおもちゃや羽などに修正を加え何度も試みます。そして迎えるペットボトルエアロケット飛ばし大会。



メンテナン스가大事です



ロケット発射！



こんなに飛んでいます

今回の団員はどの子も優秀！全員が20mを超え、最長記録は23m55cm！優子お姉さんも初めてのびっくりな記録となりました。体育館横幅じゃ足りなかった。素晴らしい！さすがわんぱく！



次は反動の力を学びます。大きさの違う3種類のスーパーボールを使い、スーパーボールロケットを作ります。とても小さなロケットですが、まっすぐ下に落とすと反動の力を使って高く飛びあがります。これがまたよく飛ぶこと。夢中になって遊びました。

最後は巨大ホバークラフト体験。なんとこれは人が乗れちゃいます。摩擦の力を少なくすることで人が乗った浮き輪が簡単に動くことがわかりました。今回のわんぱくでは遊びながら楽しみながら科学を学ぶことができた体験となりました。



乗って遊ぼう！巨大ホバークラフト

人と動物が楽しく暮らす世界 絵に思いを乗せて… やんばる・西表島図画コンクール

11月19日（金）、沖縄空手会館において世界自然遺産登録記念式典が行われ、令和3年度沖縄県世界自然遺産普及啓発事業 やんばる・西表島 図画コンクールで環境部長賞を受賞した大宜味小4年生の大湾光さん、3年生の渡嘉敷海さん、宮城珠依さんが表彰されました。

このコンクールは今年世界遺産に登録されたやんばる・西表島にすんでいる生きものや風景、植物を絵にするもので、やんばる地域はヤンバルクイナを主役に人と動物が楽しく暮らす世界を描きます。

今年はやんばる地域からは316点の作品が応募され、その中から最優秀賞1名、優秀賞（環境部長賞）5名が選出されました。

表彰式後には沖縄県北部地域を遊覧する「やんばる遊覧飛行」も実施され、表彰式に参加した珠依さんらがやんばるの森を空から眺めました。

光さんは昨年の沖縄県知事賞に続く2度目の受賞。「世界遺産に登録されたことをみんなで仲良くお祝いしている様子を描いた。また受賞で来て嬉しい」喜びました。

表彰式、遊覧飛行にも参加した海さんは「僕がヤンバルクイナに乗っている様子を描いた。賞がとれて嬉しい。空からの景色は緑がいっぱいだった。学校も見えた」、珠依さんは「私はヤンバルクイナと人が仲良くしているところを描いた。選ばれて嬉しい。遊覧では海の軽石も見えたし、やんばるは緑がいっぱいだった」と笑顔で話してくれました。

みんなが描いた絵のように人と動物が仲良く暮らすやんばるになることを願います。光さん、海さん、珠依さんおめでとうございます！



沖縄で留学体験!？ ホストファミリーとの楽しい日々 まちなか留学報告会

令和3年11月9日（火）18時より、「まちなか留学」報告会が大宜味中学校多目的教室で行われました。この報告会は、先月8日～10日実施しました「まちなか留学」に参加した生徒13名より留学生活で自分が体験したことを発表・報告し、留学で学んできたことや感じたことを振り返りました。

発表の際は生徒全員英語でスピーチし、報告会に参加した方にも分かりやすいようパソコン及びスクリーンを使って日本語での説明や写真・動画などを使い工夫して発表していました。報告内容について、ホストファミリーの趣味（音楽、ゲーム、ロッククライミング、車整備など）と一緒に遊んだり触れたり、また各出身国などの料理を作



て食べたりなどしてコミュニケーションを取りながら英語を学んでいた様子が伝わり、生徒からは「ホストファミリーとの生活を通して、英語や海外の文化をたくさん学ぶことができ、貴重な体験ができた」とのこと、今後の英語の勉強や自分の将来に役立てたいと報告がありました。

参加された生徒にとって貴重な留学体験をあらためて振り返り、大切な時間を過ごせた報告会となりました。



### 指導主事たちの勉強会 ～第5回国頭地区指導主事等研修会～

10月29日（金）に大宜味小中学校で「第5回国頭地区指導主事等研修会」が行われました。11市町村の指導主事と国頭教育事務所の指導主事が一堂に会し、授業改善等についての研修を行い、指導主事等の資質向上を図る趣旨の下、小学校1年生～中学校3年生までの全クラスの授業を各クラス指導主事を割り当て参観しました。

参観した指導主事から「学びに向かう姿勢が素晴らしい」、「支持的風土ができています」、「他者の意見を尊重し認めている」等子ども達、先生方に対してたくさんのお褒めの言葉をいただきました。研修後ビジターセンターでの施設見学、大宜味村の特産品、中学生が開発した商品等をたくさん買って頂きました。



### ～教育委員会 会議だより～

第9回 教育委員会会議 令和3年10月28日（木）午後2時 開催

今回は審議する議案はございませんでした。教育長行政報告及び連絡事項の終了後、大兼久地内で役場建設予定地の遺跡調査の発掘現場を視察しました。

### 図書室情報

No.28 2021年（令和3年）12月 大宜味村図書室（旧大宜味小学校2F：村史編纂係内）  
大宜味村字大宜味1番地 0980-44-3009

●利用状況累計  
○来室者数…のべ1,325人  
○貸出冊数…2,535冊  
○登録者数…107人  
★現在の蔵書数…6,342冊+県立図書館の本500冊

新着（リクエスト）図書紹介（12月中旬～貸出予定）



今年度の県立図書館の本500冊は  
**貸し出し→令和3年2月10日（木）まで**  
**返却期限→令和3年2月25日（金）まで**  
とさせていただきます。

来室の際はマスクの着用、手指の消毒、できるだけ少人数でのご利用をお願いします。体調の優れない方は来室を控えてください。皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。  
12月29日から令和4年1月3日まで年末年始休です。



#### 12月図書室カレンダー 閉室日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

### 「空とぶ図書館 in 大宜味」開催 ～読書の秋到来～



今年もやってきました、読書の秋。例年この時期に沖縄県立図書館が行っている移動図書館が多くの本、雑誌等を大宜味村に用意して読書の秋を楽しませてくれます。今年は10月30日（土）10時30分より旧大宜味小学校多目的室で「空とぶ図書館 in 大宜味」が開催されました。

絵本や児童書、小説などを始め、今回の特集として『ハロウィン特集』、コロナ禍でなかなか外出が難しい中でもお家で過ごせる『素敵なお家時間特集』など様々な分野の本が多数用意され、当日は延べ30名ほど来館があり館内では家族連れの大人から小さな子どもまで自分の好きな本を探しながら様々な本を手に取り、合計167冊の本が貸し出されました。今年も読書の秋をお楽しみください。

また、図書館のすぐ近くでは美ら海水族館と共催で『ふれあい水族館』を開催し、来館者を楽しませていました。



### 子どもから大人まで芸術家たちの技光る 第47回おおぎみ展



10月30日、31日の二日間、第47回おおぎみ展が開催されました。長かった緊急事態宣言が解除されて1か月以内ということもあり、例年より規模を縮小し、感染対策を徹底した中での開催となりました。そんな中でも、個人作品90点、さらに6団体の作品も合わせると410点を超える出品にご協力いただきました。中には国指定重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」（芭蕉布保存会）や県指定文化財「琉球漆器」技能保持者、前田国男さんの作品、その他木工・写真・陶芸のプロによる作品が並ぶなど、充実した内容となりました。

衆議院議員選挙や県内各種イベントが重なったことから、来場者数は例年より少ない約240名とはなりましたが、会場を訪れた人は一つひとつの作品をゆったり鑑賞する時間を持っていました。中には偶然来場していた作者に解説や作り方を聞くなど、芸術を通じた交流の場にもなり、芸術の秋にふさわしいイベントとなりました。



### CHALLENGEDAY 2021 結果

人口規模がほぼ同じ自治体間で、午前0時～午後9時までの間に15分以上継続して、スポーツや運動を行った『住民参加率（%）』を競い合うチャレンジデーが10月27日（水）に開催されました。コロナ明けということもあり、今回は家庭や職場、学校で取り組める個人種目を設定し臨みました。



大宜味村は今回で7回目の挑戦となり、北海道新得町、群馬県南牧村の3地域で対戦しました。本村の当日の参加者は1,045人で、34.0%の参加率でした。ご参加ありがとうございました。

# 沖縄県公文書館所蔵の 大宜味村の写真

沖縄県公文書館は、沖縄県はもちろん、県外や国外からも集められた貴重な公文書（公の機関が職務上発した正式な文書）を保管、公開している施設です。今回は、沖縄県公文書館が所蔵している資料の中から大宜味村関係の写真をご紹介します。公式ホームページからも県内の写真や映像、沖縄に関する歴史資料などをみることが出来ますので、ぜひ覗いてみて下さい！

【URL】 <http://www.archives.pref.okinawa.jp/>



### ▲沖縄県公文書館

【住所】南風原町字新川 148-3  
【電話】098-888-3871  
【開館時間】9:00～17:00  
【休館日】月曜、国民の休日、慰霊の日（6/23）  
年末年始（12/29～翌1/3）



▲大国トンネル（田嘉里 1964/6/12）



▲大国トンネル（日米援助工事 1964/6/12）



▲芭蕉糸を紡ぐ（喜如嘉 1969年）



▲量表の作成（喜如嘉 1959年2月）



▲塩屋湾のウンガミ（1970年8月）



▲喜如嘉の子供たち（1965/9/24）



▲ニジマス（養殖）（饒波 1971年5月）



▲屋良朝苗行政主席視察 記念植樹（1969年3月）



▲オリンピック聖火リレー選手を海上から応援する人々（塩屋湾 1964/9/9）

# 村史編さんだより

第128号 2021年12月1日 大宜味村村史編纂係44-3009



## —沖縄特有の“ヒヌカン”信仰—

沖縄の御願では位牌はもちろん、火の神（ヒヌカン）への拝みも大切なものです。“火の神”とは名前の通り家の火（カマド）を司る神様で家全体を守るものと考えられ、古くはカマドそのものを拝んだのですが、やがてカマドをかたどった3個の石に変わり、今では台所の一角に香炉を置いて火の神を象徴することが多いです。現在も沖縄では多くの家庭で台所に祀られ、あつく信仰されています。



▲根謝銘グスクにある地頭火の神

国頭按司の火の神と惣地頭の火の神である。ウンガミでは神アサギでの儀式の前にここを拝む。

スワーシウグン（師走御願）12月24日・・・フトキウグン（解き御願）とも呼び、カマドの火の神（ヒヌカン）が昇天する日であり、過去1か年間の家族の行いを天に報告する日でもあるといわれている。（『大宜味村史』）フトキウガン（解き御願）は正月のタチウガン（立て御願）と対になる御願で、タチウガンで願立てをし、フトキウガンは1年間の家内安全、家人健康の願いが叶ったことへの感謝でもある。

12月24日に各家庭では、上座から始めて台所に至る全ての天井の煤を集め、海へ流し捨てた。煤は家中に溜まったゴミであると同時に病気などの悪いことの全てと考えられていて、厄払いの意味があった。（『大保誌』）

## ★寄贈写真のご紹介★

▲家族写真（根路銘 戦前か）



▲家族写真（根路銘 戦前か）



▲創立の頃の辺士名高校（1950年）



▲第1回 田港まつり（1985/11/17）



▲まつりの様子



▲まつりの展示の様子



▲喜如嘉中初校落成 大工班記念写真（1950/5/17）



▲火野葦平氏と喜如嘉の有志達（昭和29年）



# 「しまふとうば」ぬくとう 71



月ぬ走いや 馬ぬ走い

今年もしわ～し 12月になりました。

月日の流れは本当に早く感じられます。

来年は「琉球政府」という「1つの国」？から「沖縄県」になって50年、半世紀を迎える。50年前の私は琉球大学の1年生であった。当時の琉球大学は現在の首里城域内に各学部等のビル群が建ち並ぶ風景でした。「日本復帰」前後ということもあり、沖縄の社会が激しく動いている時代でした。毎週というほど大小様々な集会やデモが行われている社会情勢は正に“沖縄が大きく揺れている”という感覚の中で学生生活を送っていた。

沖縄は「沖縄」という地勢からか、歴史の中で幾度か大きく揺れ動いています。「琉球王国」として独立した国家であったが、1609年に島津家久に侵略され、王国の廃止、琉球藩の設置、そして1879年に首里城が明け渡され沖縄県となる。1940年代の第2次世界大戦では主に沖縄本島が激戦地になり大きな悲劇が沖縄を襲った。その後は米軍の施政下で「琉球政府」という形の独立国？になり、1972年まで続くことになる。そして1972年5月15日に再度「沖縄県」となり現在に至っている。戦後は多くの人々の故郷を接收して米軍施設が各地に建設され、別の苦悩が続いてきた。

今年、やんばる3村の山頂部分が世界自然遺産に登録されたが、東村に存在する米軍の訓練用地が世界自然遺産登録から除外されていること、「日本復帰50年」を前に沖縄の歴史を考えさせられた。

～～ はめな～沖縄や いちぬ世になていん 荒波ぬ歴史 続く定め？ ～～



## 3期目決定!! 米須邦雄教育長再任

この度、米須邦雄教育長が再任され、11月10日より3期目がスタートしました。

任期は2021年11月10日より2024年11月9日までの3年間となります。

これから3年間よろしくお願いいたします。

## 12月の行事予定

- 1日（水） 区長会
- 2日（木）（小） 授業参観・持久走大会
- 4日（土）（園） 生活発表会
- （中） 地区新人大会 ～5日・11日
- 11日（土）（中） 県総合文化祭
- 14日（火）（中） 三者面談 ～16日

17日（金）（小） 学級保護者会

23日（木） 定例教育委員会議

24日（金） 2学期終業式

25日（土）ミニバス登記県大会 ～27日

26日（日） 県童話・お話・意見発表会

28日（火） 官公庁仕事納め

31日（金） 大晦日

12月23日



テレホンカードの日